

## 新年度を迎えて

那珂川病院  
院長 吉村 寛志



満開の桜を窓越しに見ながら、この原稿を書いています。中国の武漢から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックは、日本でも第1～6波と流行を繰り返し、3度目の春を迎えました。

新型コロナ禍で激変した日常生活を元に戻すことは難しいですが、新型コロナに順応した生活様式が浸透し、ワクチン接種も進んだことで、新しい日常生活として、落ち着きを取り戻してきていると思います。そんな中、ロシアによるウクライナ侵攻という国際秩序を破壊する蛮行が続いており、東アジアでも台湾有事の懸念も高まっています。更に地震などの自然災害も頻発しており、不安材料の多い春になっています。

日本でも、疾病や災害、国家間の紛争などの有事に対して、「自国を守る、自国民を守る」という強いメッセージを発信し、実践できる政治家に期待したいものです。

医療現場も新型コロナの急激な感染拡大時には、危機的状況に陥りました。新型コロナ受け入れ病床の逼迫、ホテル・自宅療養者の急増、病院内での

クラスター発生、医療従事者のコロナ感染や濃厚接触者認定、コロナ以外の疾患の診療制限、私的病院やクリニックでの経営悪化などにより、医療機関の診療機能が著しく低下して「医療崩壊」が叫ばれました。幸い、新型コロナウイルス感染症の特徴や感染様式がある程度わかり、医療現場での対応方法が共有されてきたことや、ワクチン接種や治療薬開発が進んだことで、新型コロナ禍での診療機能が回復し安定を取り戻してきました。

当院でも、感染対策を徹底することで、何とか新型コロナ禍前と同様に医療・介護サービスを提供できるようになりました。一方で、入院時・手術前のPCR検査や、長期間にわたる面会禁止措置などで、患者さんやご家族にご負担・ご不便をおかけしていることを心苦しく思っております。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

当院では新型コロナウイルス感染症患者さんの入院治療は受け入れておりませんが、引き続き、感染対策を行いながら、肺炎や心不全の治療、骨折や腹部消化器疾患の手術、リハビリ、透析、緩和ケア、在宅診療などの、当院で対応できる通常診療をしっかり継続することで、役割を果たしていきたいと考えています。

今年度も、周囲の医療機関や介護施設の方々と連携をとりながら、地域の皆様の健康をしっかりと守っていけるよう、職員一同努力を続けてまいります。よろしくお願いたします。

## 患者さんの“ものがたり”を 聞くということ

公認心理師・臨床心理士 大部 翼



緩和ケアに限らず、多くの医療者が患者さんの思いや希望に耳を傾けながら日々臨床に臨んでいることと思います。しかし、実際には医療者が患者さんの話をさえぎって話を整理しようとしたり、その場の苦しい雰囲気にならざるに、ついつい医療者の方から言葉を挟む場面を目にすることがないでしょうか。かく言う私も例外ではありません。

緩和ケア病棟で患者さんからよく言われるのは「こんなはずじゃなかった」「前の病院に見捨てられた」「何もする気が起きない」。つまり、今まで当たり前だった人間関係や生きがい、将来の展望が切断されたことで自分の存在の意味が見出せず、それまでの自分という“ものがたり”を失った状態であると言えるかもしれません。

以前関わった患者さんにも強くそのような状況にあった方がいました。元々他人に優しく自分に厳しい方で、家族の面会も強く拒んでおられました。段々自分でできることが少なくなり、身体的にも精神的にも苦痛が強くなるにつれて、症状緩和よりも死を選びたい気持ちが強くなり、医療者の再三の処置やケアの提案も尽く拒否されました。

私は、死にたい気持ちを必死に訴えるその方を前に何もできず、唯々無力感を覚えながら1日中その方の側に居続けました。夕方までそのやり取りは続きふと家族の話題になった時に、周囲の家族団欒の声を聞きながら1人ベランダで涙を流していたこと、自分の子供には決してそのような思いをさせないように親の役割を今まで果たしてきたことをゆっくり語り始める場面がありました。その後からその方は余裕を取り戻し、再び他人に優しく、そして今度はちょっと人を頼りながら最期の日までその方らしく過ごされました。

患者さんの状態を専門的に捉えてアドバイスをすることも重要な役割ではありますが、同時に緩和ケアにおいては患者さんと共に人生の語り直しを通して、“ものがたり”を回復していく患者さん主体のプロセスも大切にしていきたいと思っています。

### ● 緩和ケア統計2021年(1月1日～12月31日)

入院相談		314件
緩和ケア病棟(定数24床)		
入院件数	248件(208名)	
退院件数	248件(204名)	
平均在院日数	29.5日	
1日平均患者数	21.4名	
在宅ケア	159名	
在宅看取り	30名	
和ケア病棟入院患者208名の内訳		
年齢	31～102歳(平均:74歳)	
男女比	115名:93名	
疾患名	肺癌	34
	大腸癌	21
	胃癌	20
	直腸癌	10
	肝癌・肝内胆管癌	17
	膵癌	16
	子宮癌	11
	乳癌	11
	食道癌	10
	胆嚢・胆管癌	8
	悪性リンパ腫	7
	前立腺癌	6
	卵巣癌・卵管癌	4
	その他	33
紹介元の医療機関	九州がんセンター	77
	福岡赤十字病院	29
	九州大学病院	7
	九州医療センター	6
	福岡大学病院	5
	浜の町病院	4
	その他	37
患者住所	福岡市南区	85
	春日市	40
	那珂川市	36
	大野城市	11
	福岡市(南区以外)	11
	太宰府市	11
	その他	14



## 待ちに待った活動再開

昨年12月、感染者が減少し、世の中のさまざまなことが緩和され始めたのに合わせて、当院も全面禁止だったご家族の面会が、制限付きではありますが、可能になりました。これを機に、長らく休止していたボランティア活動を再開するならば「このタイミングだ!」と思い、勇気を出して会議で提案したところ、「患者さんと接触をしないこと」という制限付きでの活動再開が認められました。

早速、ご無沙汰していたボランティアスタッフに連絡をしたところ、ピアノ演奏と二胡演奏をしてくださる2名から、「待ってました!」と迷い無く「OK」のお返事をいただきました。久しぶりのボランティア活動が始まると、患者さん・ご家族が、いつもの音楽療法士が奏でるものとは違う音色に気づかれ、談話室の前で足を止め、ゆっくり鑑賞される様子がありました。

また活動休止中の間にも、バルーンアートをご提供くださっていたボランティアスタッフには、久しぶりに緩和ケア病棟談話室までおいでいただき、作

品のディスプレイ(飾り付け)をしていただくことが出来ました。

順調に活動再開していましたが…今年1月に感染者が増加したことで、残念ながらピアノ演奏は4回、二胡の演奏は1回の活動で再び活動休止となり、実質活動再開期間は約1カ月…。あまりにもあっという間で、まるで幻のようでした。

2年もの長きにわたる活動休止の間、看護スタッフの入れ替りなどで病棟の雰囲気は少しずつ変わりました。『ボランティアスタッフが、我々医療スタッフと共に居る風景』が当たり前だったはずが、『ボランティアスタッフが居ない風景』に慣れてしまいつつあったところで、久しぶりに活動されている光景は、懐かしくも新鮮なものでした。

『やっぱり、ボランティアさんが居てくださるっていいものだなあ〜』と実感した1カ月でした。

ボランティアコーディネーター：山下公子



バルーン  
アート





# 二日市那珂川病院 「緩和ケア病棟」を開設いたします

緩和ケア医師 たけなか ただし  
竹中 理

緩和ケア医師である、竹中理と申します。令和4年秋に二日市那珂川病院において、緩和ケア病棟を開設することとなりました。緩和ケア病棟を開設するにあたり、この度、2回に分けて私の思いを綴らせていただきます。

第1回のコラムは、【緩和ケアとは？】です。

全国的にみて、福岡県は緩和ケア病棟の数が多い県であります。しかし、そんな福岡県の中でも、筑紫野市周辺の医療圏においては、ポカンと穴が開いたように緩和ケア病棟が手薄な医療圏です。その為、緩和ケアをご検討される際は、福岡市近郊や久留米市近郊などへ行かなければならないのが現状です。

そのような状況を改善したいという強い思いがあり、喜悦会として、令和4年秋に二日市那珂川病院に緩和ケア病棟を開設する運びとなりました。

皆さんは『緩和ケア』について、どのようなイメージをお持ちでしょうか？

「がんが進行して、治療が続けられなくなったら始まるケア」というイメージが広がっていることから、あまり良くないイメージをお持ちの方も多いのではないかと思いますが、実際は、そうではありません。

がんをはじめとした『生命を脅かす病気』に直面している患者さんやご家族に対して、それぞれの『身体的な苦痛や苦悩』『心的な苦痛や苦悩』『社会的な苦痛や苦悩』などをやわらげるのが、緩和ケアの役割なのです。手術や抗がん剤治療、放射線治療など



二日市那珂川病院緩和ケア病棟完成予想図

の積極的治療を受けている間も含めて、『がん』という診断を受けたその時から、緩和ケアがあなたのお役に立つことができるのです。

病気とともに過ごす時間を、より自分らしい時間、より納得できる時間にするためのお手伝いこそが、緩和ケアの役割なのです。

しかしながら、『自分らしい時間』『納得できる時間』と言っても、具体的なイメージは掴みにくいのが実情です。患者さんご本人とご家族におかれましても、考え方はそれぞれであり、感じ方も違いますし、その時々で心情が変化します。

その時々状況や状態に応じたより良い過ごし方を一緒に探していきたい、少しでも後悔が少ない時間を過ごしていただきたい、それが緩和ケア病棟スタッフにおける共通の思いです。そのためにも、緩和ケア病棟を今後ご利用、検討される患者さんやご家族にお願いしたいことがございます。

それは、『遠慮』をしないで緩和ケアを利用して欲しい、ということです。たとえ小さなことでも、遠慮していたのでは『自分らしい時間』『納得できる時間』を過ごすためには遠回りになってしまいます。

その為にも、緩和ケアを利用される際には、厚かましいということはありませんので、色々な思いを伝えていただければと思います。

伝えたいことはまだまだございますが、第1回のコラムはここまでとさせていただきます。ご一読ありがとうございました。





# 日本臨床栄養代謝学会 指導医を取得しました

那珂川病院 消化器外科部長 眞田 雄市



日本臨床栄養代謝学会（以下、JSPEN）は、病気の治療、患者さんの社会復帰のために必要な栄養サポートのための研究・教育・システムの構築を担う国内最大の学会です。2022年3月に学会の指導医を取得しました。全国に200名余の指導医が存在しますが、公的病院以外の勤務医での取得は非常に少ないと考えられます。

患者さんの栄養サポートは具体的に以下の2点が重要です。①疾患の治療が一段落した後、社会復帰に向け筋力増強と機能回復のため、リハビリテーションと併せて行う栄養サポート。②重篤な病状で口から食事が摂取できない患者さんに対して、疾患の治療に併せて行う栄養サポート。①に関しては当院の優秀な管理栄養士、メディカルスタッフが取り組んでおり、私（消化器外科医）が携わるのは主に②の領域になります。

当院では年間約200名の患者さんの消化器外科手術を行っていますが、腸の穿孔（腸にあながあいて、腹膜炎になること）、壊死（腸が腐ってしまうこと）などを伴い、敗血症（全身に細菌が巡り、臓器の働きが悪化する）など、生命を脅かす状態で行わなければならない患者さんも少なくありません。その際、手術、投薬、その他の集中治療に加え、患者様の免疫力強化、浮腫や臓器不全の予防のための栄養サポートを行うことが非常に重要になってきます。

当院ではこういった重症患者さんに対しても、点滴や、経腸チューブ（腸にチューブを入れ栄養剤を投与する）を駆使して積極的な栄養療法を行い、疾患の治療を目指しており、診療経験は論文発表を積極的に行い検証しています。

JSPEN指導医として、少しでも安心して治療をお受けいただけるよう、救命、疾患治療のため全力を尽くす所存です。

栄養サポートに関して疑問やお聞きになられたいことがあれば、いつでもご相談下さい。



## 論文実績(2018年より)

- 眞田雄市、古田斗志也ほか。消化管領域のseptic AKIにおける急性期栄養管理のあり方  
外科と代謝・栄養 52:167-182;2018.
- 眞田雄市、古田斗志也ほか。重症病態急性期の栄養療法のあり方。  
Medical Nutritionist for PEN Leaders 3:35-41;2019.
- 眞田雄市。異なる臨床経過をたどった十二指腸瘻2例に対する栄養療法の経験。  
学会誌 JSPEN 3:194-200;2021.
- 眞田雄市、古田斗志也ほか。開腹による経胃的空腸瘻造設の経験  
日本病態栄養学会誌 2022,in press

## 略歴

### 眞田 雄市

日本外科学会 専門医・指導医  
日本消化器外科学会 専門医・指導医  
消化器がん外科治療認定医  
日本肝臓学会認定 肝臓専門医  
日本臨床栄養代謝学会(JSPEN) 認定医・指導医  
日本臨床栄養学会認定 臨床栄養指導医  
臨床研修指導医  
医学博士





# 新型コロナ感染拡大 第5波と第6波の違い

那珂川病院  
城崎 洋



喜悦会那珂川病院グループでは、ちくし那珂川病院において2021年6月から新型コロナ感染症の入院診療を行っており、担当者として診療を通して感じたことを述べてみます。

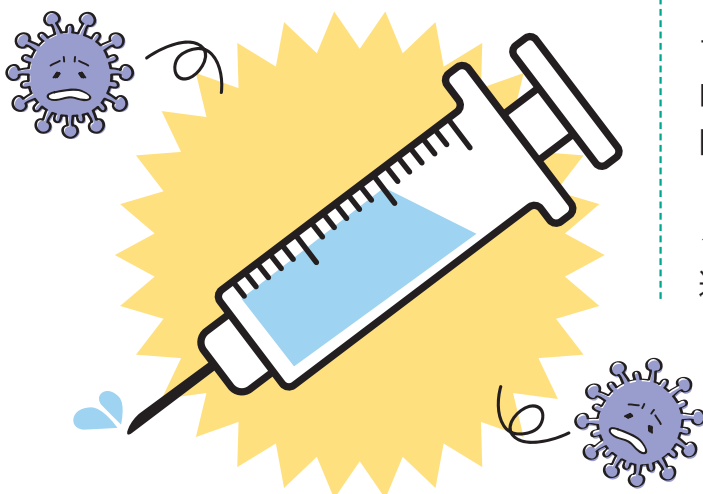
パンデミック第5波（主にデルタ株感染）では、ウイルスは主に肺に感染し、約8割の方は自然軽快しますが、発症7日前後を過ぎて熱発が続き酸素化が不良となる約2割の方は、重症感染症で見られる免疫反応過剰状態（サイトカイン放出症候群）によって肺組織が破壊され、呼吸不全を引き起こします。私たちは抗サイトカイン作用のある免疫抑制剤や抗体治療薬を有効に使い多くの方の重症化を防ぐことができました。

パンデミック第6波（主にオミクロン株感染）においては、ウイルスは主に咽喉付近の



粘膜にとどまって炎症を起こすため、第5波のような肺の障害による酸素化不良の症例は少ない状況です。若年者では比較的軽症で済むことが多い半面、高齢者では熱発・咽喉痛のために食欲が低下し脱水・低栄養状態となり持病が重篤化し、栄養管理や合併症のコントロールのために入院治療が長期化し病床ひっ迫の原因にもなっています。

両者には明らかな臨床像の違いが見られますが、感染早期に投与可能な即効性のある経口抗ウイルス薬が待たれるところであり、2回以上のワクチン接種が済んでいる患者さん（特に高齢者）では重症化しにくい傾向があることが判っており、一刻も早いワクチンの追加接種が望まれるところです。



那珂川病院

■午前(診察時間/9:00~12:00) ※1 受付12時まで

診察室	月	火	水	木	金	土
診察室1	朔(第4のみ) (循環器内科)		永田(完全予約) (糖尿病内科)	細谷(内科)	蔵本(完全予約) (糖尿病内科)	片桐(第2・4のみ) (脳神経外科)
診察室2	立元(内科・禁煙外来)	立元(内科・禁煙外来)	安藤(循環器内科)	安藤(循環器内科)	森戸(循環器内科)	棚橋(第2・4・5のみ)
診察室3	筒井(内科)	今泉(循環器内科)	佐々木(内科)	藤澤(腎臓内科)	筒井(内科)	内科当番医
診察室5		真田(外科)	真田(外科)		真田(外科)	外科当番医
診察室6	栗山(第1・3・5) 石本(第2・4) (外科)	吉村(外科)	井上(麻酔科)	大村(脳神経外科)	吉村(外科)	川野(第1・2・4・5) 瀬尾(第3のみ) (外科)
診察室7	大村(脳神経外科)			古田(外科)	ラウ(緩和ケア)	
診察室8	※1 齊田(整形外科)	月江(緩和ケア)	※1 齊田(整形外科)		※1 齊田(整形外科)	
診察室10		齋藤(泌尿器科)		齋藤(泌尿器科)		

■午後(診察時間/13:00~17:00) ※2 完全予約

診察室	月	火	水	木	金	土
診察室1		※2 保田(糖尿病内科)			細谷(内科)	
診察室2	安藤(循環器内科)	細谷(内科)			富田(循環器内科)	
診察室3			立元(内科・禁煙外来)	筒井(内科)		
診察室6	栗山(第1・3・5) 石本(第2・4) (外科)		大村(脳神経外科)	吉村(外科)		当番医
診察室7	ラウ(緩和ケア)	野中(脳神経外科)	古田(外科)	月江(緩和ケア)		
診察室8						
診察室10		泌尿器(担当医)(要予約)			齋藤(泌尿器科)	

- 診療時間 平日 9:00~17:00 / 土曜日 9:00~12:00
- 休診日 日曜・祝祭日・年末年始(12/31~1/3)  
※急患はその限りではありません
- 住所 福岡市南区向新町2-17-17  
TEL:092-565-3531 FAX:092-566-6460
- 交通アクセス 西鉄バス系統番号3番・4番・47番・48番・49番・60番・61番・62番・600番台・W1-W3「那珂川病院前」下車すぐ
- 駐車場150台



ちくし那珂川病院

診察時間(平日9:00~12:00/13:00~17:00 土曜日9:00~12:00)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	午前	松村	大國	松永		当番医
消化器内科・外科	午前	渡邊	池田	和田・渡邊	渡邊・当番医	野間・池田
呼吸器内科・外科	午後				野間	当番医
糖尿病・内分泌内科	午前	第1・3 当番医		第1・3 重本		第2・4 重本
循環器内科	午前	高宮				
救急	午後	和田	横山	池田	和田	横山
健診	午前	宗清	宗清	第1・3大國 第2・4横山	宗清	宗清
内視鏡	午前		渡邊	渡邊	当番医	
CART	午後		渡邊	渡邊	当番医	

- 診療時間 平日 9:00~17:00  
土曜日 9:00~12:00
- 休診日 土曜午後・日曜・祝祭日
- 住所 〒811-1253  
那珂川市仲2-8-1  
(ミリカローデン那珂川 北側)  
TEL:092-555-8835  
FAX:092-555-8975
- 交通アクセス コミュニティバス《かわせみ》「片縄線」  
「安徳線」「南駅・ミリカ線」ちくし那珂川病院前



二日市那珂川病院

■午前(診察時間/9:00~12:00)

診療科	月	火	水	木	金	土
外来	有田	有田	渡邊	循環器 内科医	内科医	渡邊(第1・3) 竹中(第2・4) 片桐(第5)
	渡邊	糖尿病 担当医	肝胆脾医	内科医	内科医	

■午後(診察時間/13:00~17:00)

診療科	月	火	水	木	金	土
外来	有田	有田 竹内	有田	竹中	片桐	休診
	片桐	(糖尿病)	(肝胆脾)	(循環器)	(呼吸器)	

- 診療時間 平日 9:00~17:00  
土曜日 9:00~12:00
- 休診日 土曜午後・日曜・祝祭日
- 住所 〒818-0072  
筑紫野市二日市中央3-6-12  
TEL:092-923-2211  
FAX:092-925-0415
- 交通アクセス 西鉄二日市駅(西口)より…徒歩約8分  
JR二日市駅より…徒歩約5分

